

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)八千代工機 移転計画 新築工事	階数	地上3F
建設地	大阪府八尾市福栄町三丁目	構造	S造
用途地域	工業地域、準防火地域	平均居住人員	90 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,080 時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年6月 予定	評価の実施日	2021年5月19日
敷地面積	4,873 m ²	作成者	株式会社浅沼組
建築面積	2,557 m ²	確認日	2021年5月21日
延床面積	5,033 m ²	確認者	株式会社浅沼組

本図を右クリックし、「図の変更」を選択していただくことで、外観図等を貼り付けることができます。

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・室内環境、サービス性能への配慮を行う。 ・敷地内及び、敷地外環境への配慮も怠っていない。 ・エネルギー、資源、マテリアルの確保に努めている。 		
Q1 室内環境 ・F☆☆☆☆を採用し、空気質環境に配慮している。 ・高い換気性能を確保している。	Q2 サービス性能 ・防汚性の高い建材を採用し、建物の維持管理に配慮している。 ・防振性への配慮を行う。・外壁、給排水管等、耐用年数の長い部品、部材を採用している。・階高を確保し、空間のゆとりを配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) ・緑地を設置している。 ・景観条例を満たしている。
LR1 エネルギー ・LED照明等の、高効率設備機器を採用している。	LR2 資源・マテリアル ・リサイクル材を活用している。 ・防水工事のプライマー等、化学物質の使用削減に努めている。	LR3 敷地外環境 ・省エネ性能を高め、LCCO ₂ 排出率を削減する事で、地球温暖化防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0019

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)八千代工機 移転計画 新築工事						
	建設地	大阪府八尾市福栄町三丁目						
	用途/区分	工場 事務所						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
	エネルギー消費量の報告							
【評価項目】								
	項目	評価内容				スコア	評価	
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6	4	
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	2	
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.5	5	
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.4	3	
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
	先進的技術の導入							
	特に配慮した事項							